

●平成14年度（2002年度）

森林組合改革（基本計画の作成）



森林組合改革説明会

新組合発足後、経営環境も大きく変化する中、経営体制の強化が必要となりました。役職員、班長が出席し、森林組合改革説明会が行われ、組合運営について議論されました。

森林組合広域合併等促進事業により、4ヶ月にわたり組合運営について中小企業診断士による経営診断を受け、また経営能力向上を目的に先進地の視察を行いました。その後、改革推進委員会を設置し、財務、組織、業務開発の各専門部会を設けて、様々な角度から検討し、基本計画を策定しました。

中野地域職業訓練校の講師に

中高高等職業訓練校に、求職者委託訓練として林業技能科が開設されました。

求職者が林産業者等の技能職員として勤務できる技能を習得するための職業訓練で、平成14年、15年の2年間、当組合へ講義を依頼されました。

森林整備を行う上での安全管理、測量、作業用機械の操作等の学科や、下刈り、枝払い、間伐等の実習が行われました。

職業訓練講義現場



職業訓練伐採現場

テキスト、資料などの教材や、研修場所を準備し、講義を行いました。

主な出来事

長野県林業関係コンクール受賞

- ▲ 間伐の部
- 中野市 市村明氏 県緑の基金 理事長賞
- 中野市 渡辺則雄氏 県森連会長賞



- 1月 導入
- 12月 経営診断報告会
（京都府南丹市日吉町他）
- 10月 役員視察研修
- 5月 北信州植樹祭（栄村）
- 4月 総代会
- 4月 新造林事業がスタート
- 5月 ふるさとの森づくり県民の集い
（第53回長野県植樹祭）（伊那市）
- 6月 森世紀プロジェクトが始動

■北信州森林組合

■森林・林業関係

「北信州の森林と家をつなぐ会」設立

木材価格が値下がりし、林業が低迷する中、森林や地域林業を救うために、山林所有者・建築関係者・製材業者・林業に携わる行政機関の職員・森林組合の職員がそれぞれの立場からネットワークを組み、「北信州の森林と家をつなぐ会」が設置されました。



外材が主流の中で、森林整備や地域材について多くの人に知ってもらうため、当組合からも2名がメンバーに加わり使用する木材のコーディネートや木材供給の活動を行いました。

地域材普及活動の一環として公共施設の建設に係りました。

管内の製材工場が県の認証工場となったことにより、公共施設には北信州材が使用され、使用した木材には産地を証明する刻印が刻まれました。組合が合併したことにより、搬出間伐を行っていた、中野市や山ノ内町の木材が、管内の公共施設に使用できるようになりました。

《飯山市秋津 中町地域交流センター・大久保地域交流センター》



建物には、地元材の他、組合で搬出している中野市間山地区や赤岩・田上地区の間伐材が使われました。

フローリング用の集成材とするため、組合のトラックを使い、上伊那森林組合の駒ヶ根工場に搬入し、市場を通さないことによりコストの軽減を図りました。



中町地域交流センター



大久保地域交流センター



産地を証明する刻印

主な出来事

木材粉碎機 ブラッシュチッパー導入



- 2月 柳澤萬壽雄木島平村長（3選）
- 2月 中山茂樹山ノ内町長（3選）
- 12月 北信州の森林と家をつなぐ会設立
- 9月 木内正勝飯山市長、初当選
- 9月 田中康夫長野県知事（2選）
- 4月 学校週5日制スタート
- 4月 替バス運行開始
- 4月 長野電鉄木島線廃止に伴い、代

■地域

- 3月 「千と千尋の神隠し」アカデミー賞受賞
- 1月 巨人の松井秀喜、大リーグヤンキース入団
- 12月 鳩山民主党政代表が辞任、新代表に菅氏
- 9月 初の日朝首脳会談（小泉首相・金正日総書記）

■国内

- 8月 住民基本台帳ネットワークスタート